

住民ディレクターフォローアップ講座 第1回目

平成 25 年 11 月 7 日

長野市ふれあい福祉センター

住民ディレクター活動を始めたみなさんの悩みのタネは、パソコン上での編集やカメラなど機器の扱いが難しいこと、取材の時間がないこと。そのために地域での活動がなかなか進んでいかないという現状がありました。

そこで、住民ディレクター本来の「暮らしを映す」という活動は、必ずしも地域のイベントや非日常のできごとを取材する必要はなく、しかも編集なしで、自分の身の回りのことや自分の人生を語るだけでも番組がひとつできてしまうことを講師高橋明子さん(一般社団法人八百万人事務局長)から教えていただくフォローアップ講座を企画。今回がその第1回目です。

講座が始まってすぐ、まずは互いの自己紹介を3人グループで撮りこするアイスブレイクです。みなさんカメラの前に立つと、緊張した面持ちではありますがバッチリ自己紹介。全員で撮ったものを見て、楽しく情報共有。映像を利用して、そこにいなかった人とも出会うことができることを改めて体感します。



午前中は他地区の取り組みについていくつかお話いただき、ヒントをもらいます。最後に高橋さんが暮らす東京・杉並での取り組みを紹介してもらいました。高橋さんのママ友のみなさんがそれぞれの活動をフリップや印刷した写真、チラシなどを持って順番に語るだけのビデオですが、いろんな思いや情景が伝わってくる番組になっていました。自分が暮らす地域で、自分のネットワークを利用しながら、しかも、できるだけ簡単に楽しく番組作りをしている姿は、参加者のみなさんにとって新しい発見がたくさんあったと思います。

午後はいよいよ参加者自身が語る番組の企画づくりです。それぞれ企画書となるシートを作ります。自分の伝えたいことを四つのステップに分けて箇条書きにすることで、話す内容を精査します。参加者全員が、高橋さんから質問を受けながら内容を深め、整理していく肯定はとても興味深いものでした。

この企画をしっかりと完成させ、必要な映像や画像を持ち寄り、番組を撮影するのが次回の講座となります。実体験して地域に持ち帰り活動につなげることが目的の講座です。今回参加者が多かった中条は、これまでイベント取材が中心でしたが、ちがう角度から地域や自分を見つめなおす番組作りができそうです。



第2回目につづく〜♪